

# 森の館通信



カラスウリ

タネ

赤く色付く樹木がすくないこの森では、まっ赤に熟したカラスウリの実が目立ちます。

果実をさいて、ミカン色の果肉を少し口にしてみました。甘くもなくすっぱくもなく、渋みだけが残りました。

タネはおもしろい形をしています。その数は、前号のカラタチと同じく31個でした。



# 生きものみつけ!

『ルリビタキ』という名前は、オスは頭から尾羽までの背面が青色(るり色)のヒタキ(現在の分類ではツグミ)の仲間という事からつけられました。



秋～冬に聞くことができる声(地鳴き)  
 「ヒッヒッ」…澄んだ声  
 「グググッ」…こもった声

## ルリビタキ

スズメ目ツグミ科

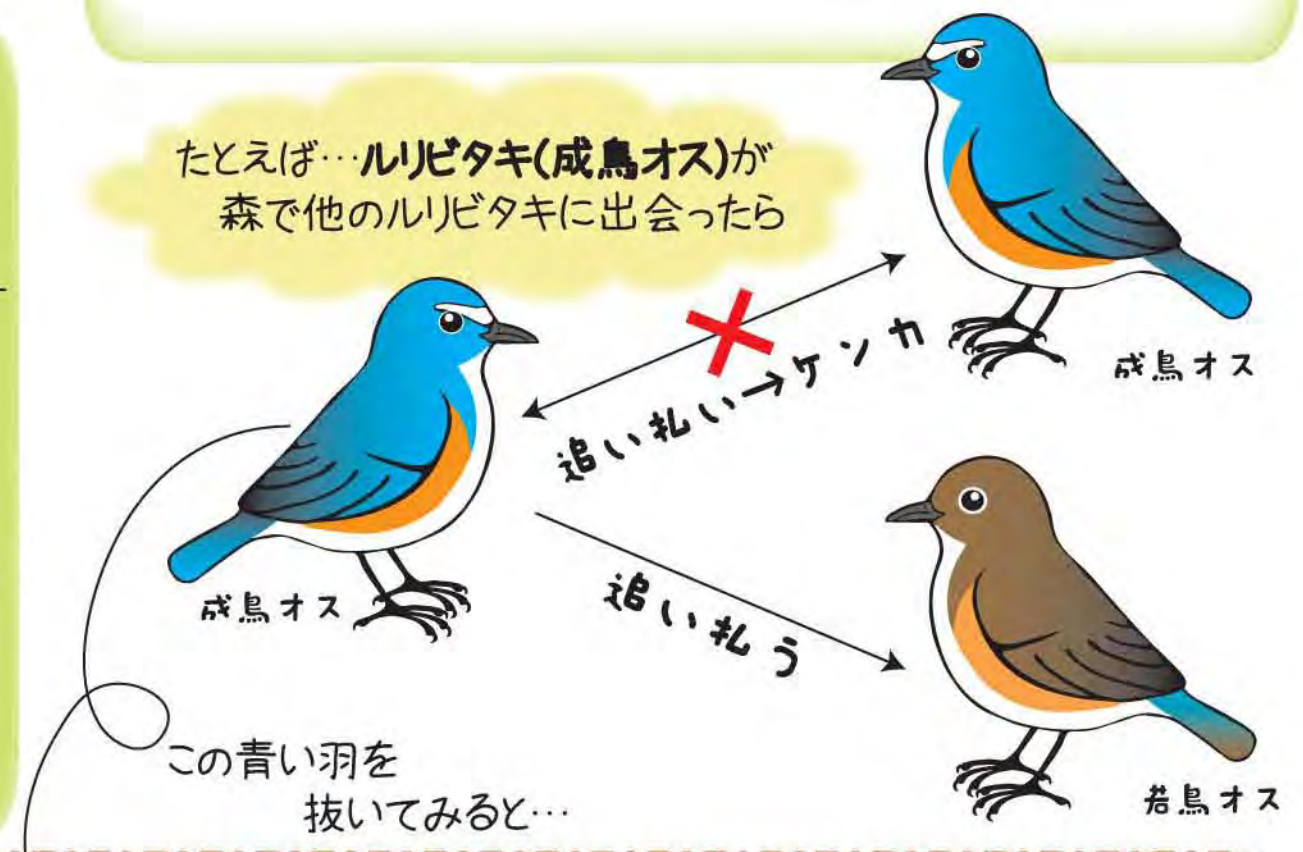
- ◆全長：14cm
- ◆生息地：全国の山地や林
- ◆食べもの：昆虫・クモなど
- ◆ふれあいの森で見られる時期：11月末～3月(冬鳥)
- ★非繁殖期(冬)は、雌雄関係なく、縄張りを持つ。

ほぼ実物大の成鳥オス  
 スズメと同じくらい大きさだよ

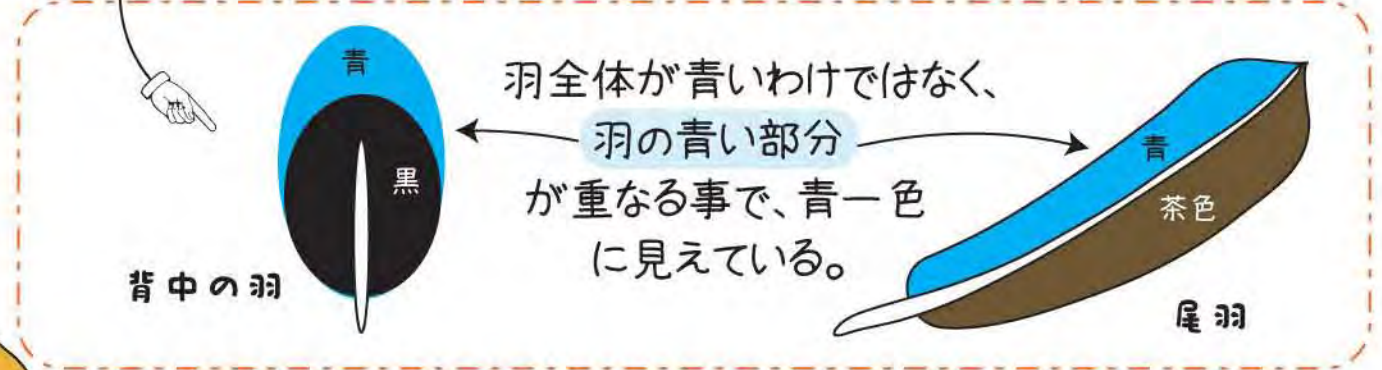
## ハデなオスと地味なオス

ルリビタキの成鳥のオスは、背中が鮮やかな青色をしています。しかし反対にメスは尾だけが青く、全体的に地味な茶色をしています。雌雄で色や大きさなどが異なることを「性的二形」といいます。しかし、ルリビタキの場合、生まれて1～2年程の若いオスも、メスに似た地味な色をしています。彼らはこの色の違いから、相手との力関係をはかっているようです。

たとえば…ルリビタキ(成鳥オス)が森で他のルリビタキに出会ったら



この青い羽を抜いてみると…



## 「冬鳥」ってなあに?

鳥の中には春～夏の繁殖期と、秋～冬に非繁殖期で住む場所を変えるものがあります。それを「渡り鳥」といいます。渡り鳥の中には、海を渡って長距離の移動をするカモ類のような鳥や、日本国内の高地から低地に移り住むルリビタキのような鳥など、種類によって移動する距離は様々です。そして渡り鳥のうち、その場所で、春～夏にだけ観察できる鳥を「夏鳥」、秋～冬にだけ観察できる鳥を「冬鳥」といいます。また、反対に一年通して観察できる鳥を「留鳥」といいます。

【第二豊田川】や【西のおじいさんの木】、【お弁当広場】などで会うことができるよ!





# イベントのおしらせ

※この他にも、いろいろなイベントがあります。最新情報は、ホームページまたは電話にて、ご確認ください。

## ふれあいの森収穫祭

要予約

12月21日(土)

10:00~12:00

ふれあいの森で収穫したもち米をつかってのもちつきや森の散策、ドングリの種まきをします。

※指導協力：いっちゃんクラブ

対象：小学生以上

(保護者同行)

参加費：200円

定員：60名

受付：12/7(土) 9:00~



## 糸くり体験 ~カイコのマユから糸をひく~

予約不要

1月11日(土)、12日(日)

10:00~14:30

のいつでも

カイコのマユを煮て糸口をみつけ、糸くり機をまわして生糸をひきます。あやとりができるくらいの丈夫な絹糸が完成します。

対象：どなたでも

参加費：無料

定員：なし



問合せ・申込み先

### 堺自然ふれあいの森

〒590-0124

大阪府堺市南区畑1740番地

Tel: 072-290-0800

堺自然ふれあいの森

検索

※イベント情報  
や最新の自然情報  
などが閲覧できます



開園時間：9:00~16:00(～3/20)

休園日：月曜(祝日の場合、翌日休み)

12/29~1/3は休園します

<バス>

泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅

南側②番のりば「鉢ヶ峯行き」

「公園墓地北口」下車 徒歩約1,200m

※日・祝は「堺公園墓地行き」あり

「自然ふれあいの森前」下車すぐ

<車> 駐車場無料 P40台

阪和自動車道 堺ICより

泉北ニュータウン方面へ約7.5Km

「堺公園墓地」を目標にお越しください